

3/7 もっと伝わる！コミュニケーション 村上美香さん講演会



講演会参加者との集合写真（写真提供：村上美香さん）

少子高齢化に伴い希薄になりつつあるコミュニケーションについての講演会が、久木野庁舎集会ホールで開催されました。これは、人と人との関わりを深めて地域組織を活発化し地域の維持振興につなげることを目的に、村認定農業者の会が、担い手育成支援事業の一環として主催したものです。村内の認定農業者、農業委員、女性生活研究グループ、新規就農者など80人が参加しました。

講師は元テレビキャスターの村上美香さん。「コミュニケーションは相手に理解されることが大切」と講演があり、参加者たちは腹式呼吸による発声練習や強調したい言葉の5つの表現方法などを学びました。

3/2 お相撲さんの格好で ちゃんこDE行こう！スモウラン 南阿蘇



コースの途中で受け取った野菜をゴールまで運んで

お相撲さんの仮装スーツを着て走るイベント「ちゃんこDE行こう！スモウラン」（スモウラン実行委員会主催）が、道の駅あそ望の郷周辺で開催され、約100人が参加しました。

村では2回目となる本イベントは同実行委員会が地域振興と熊本地震からの復興支援を目的に開催されたもので、収益の一部は支援金として村に寄付いただきました。

当日、参加者たちは約4キロのコースを歩き、会場ではちゃんこ鍋のふるまいも行われました。

3/23～4/7 待ちわびた開花 村内一帯で桜まつり開催

村内の各桜の名所で桜まつりが開催され、村内外から多くの見物客が訪れにぎわいました。

「アスペクタ桜公園」では3月初旬には河津桜が満開。3月23日に開催された「貞春桜まつり」では南阿蘇太鼓の演奏やジビエ料理の振る舞いなどが行われました。

「観音桜」は4月2日に満開となり、雄大な景色を望む牧野の中にたたずむソメイヨシノが見事な姿を見せました。

「一心行の大桜」は3月29日に開花し、4月4日に満開宣言。桜と菜の花が鮮やかに咲き誇り、6日までの3日間は日没後のライトアップが行われました。



- ① 濃いピンク色の河津桜
- ② オープニングイベントでの「南阿蘇太鼓」
- ③ 満開の「一心行の大桜」
- ④⑤ 牧野に咲く「観音桜」



3/23 桜を巡ってウォーキング
南阿蘇健康さくらウォーク2019



見晴らしの良いコースを歩く参加者たち

「道の駅あそ望の郷くぎの」をスタート、ゴールとする
「南阿蘇健康さくらウォーク2019」が開催されました。

約14キロの「観音桜コース」、約7キロの「一心行の大桜コース」に県内外から約1,200人が参加。早春の南阿蘇の景色を眺めながら歩いた参加者は、チェックポイントに設置されたクイズに答えながらゴールを目指しました。

ゴール後には村の特産品などが当たる抽選会も行われ、会場はにぎわっていました。

4/2 地域の担い手となる農業を目指します
家族経営協定書締結式



協定書を手にする（左から）吉良村長、山田祐輝さん、明日香さん

意欲とやりがいを持って農業経営に参画できるよう、農業経営の目標や役割分担、就業条件などについて家族で話し合い、その内容を協定書として書面化する「家族経営協定」締結式が、役場庁舎で行われました。

今回の協定締結者は、山田祐輝さん・明日香さん夫婦（一関二区）。2年間の農業研修の後に今年4月1日に独立して就農し、経営の安定に取り組むため、吉良村長立会いのもと協定を結びました。

終わりに、祐輝さんが「トマトづくりに励み、先輩方と相談しながら技術を磨き、規模拡大して地域に貢献したい。また、海外留学で英語を学んだ。簡単なコミュニケーションは出来るため、国際と農業を繋げるような中心的な立場に立てるようになりたい」と力強く宣誓。明日香さんは「2年間研修で学んだことを生かし、地域に根ざした農業を夫婦で協力して頑張りたい」と経営に対する意欲を新たにしました。

3/21 復興への願いをつないだ走り
2019 南阿蘇鉄道復興友好駅伝大会



高森駅から勢いよくスタートを切る選手たち

「2019南阿蘇鉄道復興友好駅伝大会」(同大会実行委員会主催)が開催され、小学生から一般までの12チームが参加しました。

南阿蘇鉄道の早期復旧への後押しとなるよう企画され、昨年に続き2度目の実施となった本大会。選手たちは復興への願いを込めたタスキをつなぎ、高森駅から中松駅までの5区間およそ8キロのコースを全力で走り抜けました。

■順位

- 1位 team MAR (高森町南阿蘇村連合チーム)
2位 白水中陸上部OB会
3位 南阿蘇中陸上部Aチーム

3/31 防災を学ぶモニターツアー
村教育旅行誘致事業モニターツアー



阿蘇大橋崩落現場で現地ガイドの説明を聞く参加者

熊本地震後に減少した修学旅行生を呼び戻すため、熊本県の支援を受けて村産業観光課が取り組む教育旅行誘致事業。同事業の集大成として初のモニターツアーが開催され、村内外から29人が参加しました。

当日の行程では語り部ガイドの講話の後、阿蘇東急ゴルフクラブ展望デッキと阿蘇大橋崩落現場で現地ガイドによる説明が行われました。

ツアー後には、村防災教育ガイド認定証書交付式が行われ、教育旅行誘致事業の研修を受けた17人が村防災教育ガイドの認定を受けました。